

令和4年度事業報告

公益財団法人 日本相撲連盟

事業総括

公益財団法人日本相撲連盟

令和4年度事業の主たる成果と課題

1. 競技会の企画運営

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止策を徹底した上で、41の主要大会のうち全日本大学相撲宇和島大会、全日本相撲個人体重別選手権大会、全日本高校・大学十和田大会および全国少年相撲選手権大会を除き、開催することができた。

特に全日本女子相撲選手権大会、全国道府県中学生相撲選手権大会、全国小学生相撲優勝大会、男女全国わんぱく大会を前年に引き続き開催できたことは、相撲の普及・振興と競技力向上に大きな成果を収めることができた。

(公財)日本スポーツ協会、(公財)日本オリンピック委員会、(公財)日本相撲協会、独立行政法人日本スポーツ振興センター、日本相撲振興会その他多くの関係団体のご支援と、開催地のご理解、役員の方々、関係各位のご尽力に心から感謝いたしたい。

国民体育大会は新型コロナウイルス感染症の影響で2年間中止となっていたが、3年ぶりに第77回国民体育大会相撲競技会が、感染防止策を講じて栃木県大田原市で開催された。大田原市長を筆頭に市民の方々の献身的な協力により、新型コロナ感染もなく無事終了した。

7月には、アメリカ・バーミングハム市において、第11回ワールドゲームズが開催され、日本選手団を派遣し、男女とも多くのメダルを獲得した。

2. 会員登録の拡大と段位取得・昇段の奨励

会員登録制度は、アマチュア相撲を関係者全員で支えていく意識の表れであり、アマチュアとしての資格を確保するものである。競技会への出場、役員への就任、段位の取得・昇段、公認審判員資格の取得等、連盟に関する事業に参加するには、会員登録が必要となっている。本年は、昨年をわずかに下回る4,636人が会員登録を行ったが、実際に活動をしている者との整合が取れていないのが実態である。関係者全員の理解を深め、実態に合わせた登録者数を確保するとともに、「する」だけでなく、「見る」「支える」人々が会員登録をして連盟の事業に参画できる環境を作っていくことが重要である。

また、段位取得・昇段についても、戦歴、実績、連盟貢献度等が段位に整合しない者が多数みられるのが実態である。段位審査基準を満たす経歴の持ち主に対し、段位取得・昇段の奨励を進めてまいりたい。

3. 女子相撲の普及促進

本連盟では、相撲を体の大小や性別にかかわらず誰もが楽しめるスポーツとして普及していく方針にのっとり、女子相撲の普及振興を積極的に推し進めてきたが、「男子の競技」としての先入観が根

強く残っており、普及が思うように進まないのが現状である。

令和4年度は、全日本女子相撲選手権、女子わんぱく相撲全国大会等を開催し、多数の選手の参加を得るに至ったが、まだまだ底辺の拡大が必要である。

また本年度は、新たな取組みとして、女子トップ選手の企画運営により、令和5年1月1日に「元日女子相撲日本一決定戦」と銘打った大会を開催した。大会の様子は、MXテレビの放映やYouTubeの動画配信もなされ、女子相撲普及拡大に大いに有益であったと考えている。

今後も懸案である国民体育大会正式競技採用を目指し、その基盤である競技者拡大を様々な施策を通じて図ってまいりたい。

4. 小中学校での体育授業・部活動および地域のクラブ・道場等での相撲の拡充

令和4年度は、中学校体育授業での相撲採用校の増大と指導者の育成をめざし、第8回全国相撲指導者研修会を、11月18日（金）～20日（日）に日本武道館研修センターにおいて、新型コロナウイルス感染症防止対策として参加者数を25名に制限した上で開催した。

また、中学校や小学校での体育授業に加え、学校での部活動や地域のクラブ・道場等の活動における武道指導について網羅した日本武道協議会『少年少女武道指導書』（DVD付）の刊行に向けて、相撲編の原稿を提出した。

今後は、学校体育での相撲の普及を図るために、各加盟団体関係者の協力を得て、都道府県の教育委員会等への働きかけを進めることが必要と考えられる。また、令和4年度に採択されたスポーツ庁委託事業の採択を契機として、中学校相撲授業における外部指導者の活用と相撲授業のさらなる拡充を推し進めていくことも重要な課題である。

5. ガバナンスコードへの対応

本年度は、4年に一度のスポーツ団体ガバナンスコード〈中央競技団体向け〉適合性審査対象団体に初めて該当し、7月に審査書式及び証憑書類を提出、審査委員会との数度のやり取りを経て、無事2月に「適合」の判定を受けたが、その内実は課題も多く、今後に向け、引き続き万全な対応を図っていくことが肝要である。

6. 財政基盤の確立と事務局体制の強化

「公益財団法人日本相撲連盟 中長期計画 2022～2026」の中で「マーケティング」「財務の健全性に関する計画」を策定し、ホームページに掲載した。

また栃木国体開催中に、加盟団体全国協議会（都道府県代表者会議）を開催し、本連盟と各加盟団体との緊密な連絡調整および円滑な事務手続の必要性を強調して、理解の増進、情報の共有化を図った。

以上

令和4年度事業報告

1. 会務報告

評議員会	2回	理事会	3回
常務理事会	21回	段位審査委員会	3回
審議委員会(倫理・資格・懲罰委員会)	3回	選手委員会	1回

第1回常務理事会	日相連会館会議室	4月 5日
第2回常務理事会	〃	4月19日
第3回常務理事会	〃	5月10日
第4回常務理事会		5月24日
第5回常務理事会		6月 7日
第1回倫理・資格・賞罰委員会	書面	6月 3日
第6回常務理事会	日相連会館会議室	6月14日
第1回理事会	〃	6月18日
定時評議員会	〃	6月18日
第1回段位審査委員会	〃	6月18日
第7回常務理事会	〃	6月28日
第8回常務理事会	〃	7月19日
第9回常務理事会	〃	9月 6日
第10回常務理事会	〃	9月20日
第11回常務理事会	〃	10月 4日
第12回常務理事会	〃	10月18日
第13回常務理事会	〃	11月 8日
第2回倫理・資格・賞罰委員会	書面	11月18日
第14回常務理事会	日相連会館会議室	11月22日
第2回理事会	〃	12月 3日
第2回段位審査委員会	〃	12月13日
第15回常務理事会	〃	12月18日
第16回常務理事会	〃	1月10日
第17回常務理事会	〃	1月24日
第18回常務理事会	〃	2月 7日
第19回常務理事会	〃	2月21日
第3回倫理・資格・賞罰委員会	〃	2月27日
第20回常務理事会	〃	3月 7日
第3回理事会	〃	3月11日
第2回評議員会	〃	3月11日
第3回段位審査委員会	〃	3月11日
第21回常務理事会	〃	3月28日

2. 相撲の普及・指導に関する事業

(1) 第38回全国小・中・高等学校、大学及び社会体育相撲指導者研修会

共 催 (公財)日本相撲協会

期 日 令和4年10月21日(金)～23日(日)

会 場 国技館相撲教習所・草津相撲研修道場

内 容 相撲授業の担当者、部活動の外部講師の育成

(2) 第9回全国相撲指導者研修会

共 催 (公財)日本武道館

期 日 令和4年11月18日(金)～20日(日)

会 場 日本武道館研修センター

参加者 25名出席(教員参加は4名)

内 容

指導法概論、実践研究、指導計画、安全管理・指導、実践事例報告等

(3) 令和4年度学校相撲実技指導者講習会(中学校体育教員の講習会)

スポーツ庁委託事業

期 日 令和5年2月21日(火)～22日(水)

会 場 千代田区立スポーツセンター 大会議室・柔道場

参加者 16名(学生5名を含む。)

内 容 コロナ禍を経て、3年ぶりに開催した。今年度よりスポーツ庁との共催ではなく、委託事業として、新たな取組みとして実施された。

「学校体育における武道指導のあり方」の解説から、講義として「体育授業における外部指導者の心得・役割」「地域クラブ・部活動における指導者の心得・役割」「相撲の安全管理」「相撲事業の事例発表」など

(4) 公認相撲コーチI養成講座(専門講座)

主 催 (公財)日本スポーツ協会

期 日 令和5年1月28日(土)～29日(日)

会 場 日本相撲連盟会館会議室(ZOOM会議)

参加者 11名

内 容 ①「相撲の特性I」

②「日本相撲連盟の指導理念とその組織」

③「ドーピング防止I」

④「相撲の安全管理I」

⑤「対象に応じた指導プログラムI」

⑥「現場における救急処置法I」

講 師 櫛原利明常務理事、浦嶋三郎参事、満留久摩医科学委員、
村田光央競技委員、村田安啓競技委員

(5) 令和の日本型学校体育構築支援事業の事業（スポーツ庁委託）

①相撲授業支援推進委員会 6回開催（6/4、8/13、9/19、3/4）

②コーディネーター伝達講習会 2回開催（10/21、10/22）

③外部指導者講習会 6回開催

12/17 岐阜市

12/18 宮崎市

1/14 木曽町 秋田市

1/15 横浜市

1/29 札幌市

④データベース作成

外部指導者研修会修了者を登録者名簿に掲載

⑤相撲授業外部指導者ガイドブック・相撲授業実践事例集作成

⑥貸出用「一般室内土俵」「マイティパンツ」整備

(6) その他

①地方青少年武道錬成大会（主催 日本武道館他）

6月17日（金）～19日（日） 鳥取県鳥取市 講師 平野昭二、成松由紀夫

2月25日（土）～26日（日） 静岡県藤枝市 講師 満留久摩、須藤愛

新型コロナウイルス感染症防止対策を講じて、計画どおり開催した。

②地域社会相撲指導者研修会

今年度の開催は、無かった。

③少年相撲教室

（主催 各教育委員会 後援 日本相撲協会・日本相撲連盟）

日本相撲協会の意向により、新型コロナウイルス感染症のため、開催中止となった。

④中学校武道授業（相撲）指導法研究事業（公益財団法人日本武道館）

日 時 令和5年1月21日（土）～22日（日）

会 場 日本武道館大会議室

出席者 日本相撲連盟から推薦された指導法研究者10名と事務局1名、日本武道館2名

内 容 第9回全国相撲指導者研修会報告書の校正等

令和5年度中学校武道授業指導法研究事業の取組み等

⑤元日女子相撲日本一決定戦の開催

日 時 令和5年1月1日（日）

会 場 立川市立飛アリーナ

出席者 女子トップ選手他一般

内 容 女子相撲の魅力を広く発信し、女子相撲の普及を図るために、女子トップ選手たちの企画運営により、女子相撲の日本一決定戦を開催。参加区分は、女子相撲選手の部（一般、中学生、小学生）、レジェンドの部、腕に覚えありの部、力士親族の部、お母さんの部に分かれて実施。

3. 競技力向上に関する事業

(1) 令和4年度全日本ジュニア強化合宿

当初4月1日(木)～3日(土)日本大学相撲部道場で予定していたが、新型コロナウイルス感染症が終息せず、中止となった。

4. 競技会の開催・審判員の養成に関する事業

(1) 相撲競技会の開催

大学宇和島、全日本相撲個人体重別、全日本大学十和田、全国高校十和田、および全国少年大会は中止となったが、その他の大会は、感染防止策を講じて開催した。

(2) 地域振興事業

JOCジュニアオリンピックカップ・第35回全日本小学生相撲優勝大会を開催した(12月4日)。それに伴い各ブロック予選会を実施した。

ブロック名	期 日	会 場
北海道	9月 4日(日)	当別町阿蘇公園相撲場
東 北	8月14日(日)	栗原市みちのく伝創館屋外相撲場
関 東	8月28日(日)	葛飾区総合スポーツセンター
東 海	8月28日(日)	郡上市相撲場
関 西	8月28日(日)	姫路市網千南公園相撲場
中 国	8月28日(日)	竹原市営奥市相撲場
四 国	10月 9日(日)	春野総合運動公園相撲場
九 州	9月11日(日)	鹿児島県吹上浜公園相撲場
北信越	10月16日(日)	石川県立武道館屋内相撲場

(3) 公認審判員の認証

①公認審判員の認証者数

認証月	申請数	合格者
4月	17	17
5月	2	2
6月	18	18
7月	0	0
8月	0	0
9月	0	0
10月	0	0
11月	0	0
12月	0	0
1月	4	4
2月	0	0

②ブロック別認証者累計

ブロック名	登録数
北海道	0
東北	4
関東	1
北信越	2
東海	0
関西	6
中国	0
四国	7
九州	17
日学連	2
日実業	1

3月	0	0
合計	41	41

高体連	1
合計	41

(4) 審判講習会の開催

主催	場所	講師	開催日
1 石川県相撲連盟	石川県立武道館	舛田常務理事	4月3日
2 兵庫県相撲連盟	姫路市勤労市民会館	伊庭競技委員	4月24日
3 岐阜県相撲連盟	岐阜市メモリアルセンター相撲場	松橋競技委員	4月29日
4 岩手県相撲連盟	(公財)岩手県スポーツ協会会議室	佐藤競技委員	5月28日
5 北海道相撲連盟	小樽水産高校常設土俵	岩渕理事	6月4日
6 宮城県相撲連盟	ひなた武道館	倉園評議員	6月5日
7 福井県相撲連盟	福井県立武道館	乾競技委員	6月11日
8 長崎県相撲連盟	西海市里口相撲場	秀島・松尾競技委員	6月19日
9 西日本実業団相撲連盟	堺市・大浜公園相撲場	勝田常務理事	6月25日
10 東日本実業団相撲連盟	埼玉県立武道館	下谷内参事	7月2日
11 佐賀県相撲連盟	唐津市体育の森公園相撲場	浦島参事	7月3日
12 茨城県相撲連盟	那珂湊公園相撲場	雨甲斐競技委員	7月10日
13 愛知県相撲連盟	愛西市立永和中学校	竹内参事	7月27日
14 中国相撲協議会	竹原高校・竹原市営相撲場	永井競技委員	8月27日
15 四国相撲協議会	高知工業高校	西郷競技委員	8月27日
16 東海相撲協議会	郡上市相撲場	松橋競技委員	8月28日
17 京都府相撲連盟	伏見港公園相撲場	吉野競技委員	9月3日
18 西日本学生相撲連盟	堺市・大浜公園相撲場	勝田常務理事	9月4日
19 静岡県相撲連盟	富士宮北高校	飯塚競技委員	10月16日
20 日本学生相撲連盟	両国・国技館教習所	舛田常務理事	11月4日
21 青森県相撲連盟	青森県十和田商工会館	櫻田競技委員	11月5日
22 愛媛県相撲連盟	乙亥会館	山口競技委員	11月12日
23 山形県相撲連盟	最上交流センター	佐藤競技委員	11月13日
24 東京都相撲連盟	都立足立新田高校	安井専務理事	11月23日
25 佐賀県相撲連盟	高齢者ふれあい会館	村上競技委員	12月11日
26 鹿児島県相撲連盟	奄美市名瀬運動公園特設相撲場	浦島参事	12月17・18日
27 大分県相撲連盟	宇佐高校同窓会館	有瀬競技委員	1月21日
28 福島県相撲連盟	日本大学東北高校会議室	黒沢競技委員	2月25日
24 福岡県相撲連盟	久山町勤労青少年ホーム	南競技委員	2月26日
25 新潟県相撲連盟	上越市教育プラザ大会議室	古畑競技委員	3月5日
26 熊本県相撲連盟	文徳高校体育館会議室	高濱競技委員	3月25日

27 沖縄県相撲連盟	ANA どすこいパーク浦添	木崎常務理事	3月25日
審判講習会合計	27カ所	28名	

5. 国際競技会への派遣に関する事業

第11回ワールドゲームズ相撲競技(アメリカ・バーミンガム市)に、7月9日(土)～10日(日)、選手を派遣し、男女とも下記のとおり優秀な成績を収めることが出来た。

女子軽量級	優勝 奥富夕夏 2位 山中 未久
女子中量級	優勝 石井 さくら 4位 松本 渚
女子重量級	3位 久野 愛莉
女子無差別級	2位 今 日和
男子中量級	2位 藤澤 詩音 4位 深野 良太
男子重量級	優勝 花田 秀虎 2位 中村 泰輝
男子無差別級	優勝 中村 泰輝

6. 会員登録に関する事業

令和4年度会員登録数

小学生	中学生	高校生	大学生	社会人	役員等	合計
990	492	897	535	293	1429	4636

<参考>令和3年度会員登録数

小学生	中学生	高校生	大学生	社会人	役員等	合計
980	456	944	698	244	1422	4744

7. 相撲段位の認定に関する事業

(1) 段位の認定に関する事業

申請日 段 位	R4.6.18		R4.12.3		R5.3.11		年 間 合格者	登録者 総 数
	申請数	合格数	申請数	合格数	申請数	合格数		
初段	58	58	110	110	35	35	203	36,721
2段	27	27	51	51	17	17	95	20,100
3段	19	19	54	54	17	17	90	18,085
4段	14	14	30	30	13	13	57	7,330
5段	9	9	14	14	1	1	24	2,705
6段	3	3	3	3	4	4	10	1,621
7段	1	1	1	1	0	0	2	801
8段	0	0	1	1	0	0	1	187
9段	0	0	0	0	0	0	0	31

10段	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
合計	131	131	264	264	87	87	482	87,584					

(2) 高段者会入会

	北海道	東北	関東	北信越	東海	関西	中国	四国	九州	日学連	日実業	高体連	合計
人数	80	252	252	253	101	344	93	110	332	83	25	16	1,944
増加	0	1	0	6	2	3	1	1	2	3	2	0	24

(3) 名誉段位贈呈

段位	氏名	所属	認証日
6	相馬 憲一	栃木県大田原市長	10月2日

(4) 追授段位贈呈

段位	氏名	所属	認証日
8	増田 六郎	埼玉県相撲連盟名誉会長	4月1日
5	吉永 俊彦	静岡県相撲連盟顧問	8月1日
8	長谷 一博	石川県相撲連盟副会長	11月1日

8. 広報に関する事業

(1) 機関誌「ちから」247号を発行した。

主要大会の記録に加え、「選手写真名鑑」「注目選手、クラブ紹介」など多彩な記事を掲載した。

(2) 「アンチ・ドーピング関連情報」コーナーをホームページ内に設け、啓発活動に努めている。

(3) 「ちから」に医科学委員会の協力により「土俵の健康」を復活し、掲載している。

(4) 相撲教室、相撲道場などを積極的に紹介し、底辺の拡大を図っている。

9. 倫理・資格・懲罰に関する事業

(1) 第1回倫理・資格・賞罰委員会（6月3日 書面決議）

①アマチュア復帰の承認（6月6日）

(氏名)	(年齢)	(出身地)	(部屋)	(最高位)	(引退)
白塚 元久	38歳	岐阜県	木瀬	西十両6	令和2年7月

木暮 拓磨	26歳	茨城県	片男波	西幕下25	令和4年3月
松永 啓介	38歳	兵庫県	芝田山	西幕下10	平成29年1月

(2) 第2回倫理・資格・賞罰委員会 (11月18日 書面決議)

①令和4年度日本武道協議会表彰候補の推薦について

- ・ 武道功労者表彰候補 櫛原 利明氏(日本相撲連盟常務理事・法令統治委員長)
- ・ 武道優良団体表彰候補 新潟県相撲連盟

本連盟の推薦どおりに決定され、令和5年1月9日(祝)の日本武道館・武道始めにおいて表彰が行われた。

②令和4年度日本相撲連盟相撲功労賞受賞者

木崎孝之助 (日本相撲連盟常務理事・日本学生相撲連盟理事長)

12月4日(日)全日本相撲選手権大会会場(両国国技館)において表彰された。

③令和4年度少年少女武道優良団体

- ・ 練馬石泉相撲クラブ
- ・ いわせの道場

7月24日、全国都道府県中学生相撲選手権大会会場(堺市大浜公園相撲場)において表彰された。

(3) 第3回倫理・資格・賞罰委員会 (2月27日)

①アマチュア復帰の承認 (2月27日)

(氏名)	(年齢)	(出身地)	(部屋)	(最高位)	(引退)
工藤 良平	28歳	岩手県	佐渡ヶ嶽	西幕下54	令和4年3月
今泉 貴一朗	24歳	福島県	伊勢ヶ濱	西讃段目83	令和2年11月
岩下 洋太	43歳	神奈川県	尾車	東序二段166	平成8年3月
高瀬 向陽	23歳	大分県	伊勢ヶ濱	東序二段9	令和4年5月

②日本相撲連盟令和4年度優秀団体・個人受賞者

最優秀団体賞 新潟県相撲連盟

優秀団体賞 社会人 日本通運株式会社相撲部
 大学 日本大学相撲部
 高等学校 鳥取城北高等学校相撲部
 中学校 柏第二中学校相撲部
 女子相撲 白鳥相撲教室

最優秀個人賞 中村 泰輝(日本体育大学)

優秀個人賞 社会人 松園 大成(日本体育大学職員)
 大学 チョイジルスレン(日本体育大学)
 高等学校 高山 瞬佑(埼玉栄高等学校)
 中学校 西村 和真(鳥取県・東伯中学校)
 中学校女子 超軽量級 新井田 哩来(青森県)
 中学校女子 軽量級 服部 亜豆紀(北海道)

中学校女子 中量級 乾 夢渚(大阪府)
 中学校女子 重量級 阿部 なな(新潟県)
 女子相撲 超軽量級 篠原 茜(東京都)
 女子相撲 軽量級 柴田 歩乃佳(立命館大学)
 女子相撲 中量級 長谷川理央(慶応義塾大学)
 女子相撲 軽重量級 石井さくら(足立新田高校)
 女子相撲 重量級 角田奈那(日本大学)
 女子相撲 無差別級 久野 愛莉(東洋警備保障)

3月11日開催の令和4年度第2回評議員会の席上で表彰された。

10. 医科学に関する事業

(1) ドーピング検査の実施

月 日	大 会 名	検体数	会 場
12月4日	全日本相撲選手権大会	8	両国・国技館(東京)

(2) アンチ・ドーピング啓発講習会の開催

10月1日(土)の栃木国体開催中に各都道府県の役員、選手を対象として、アンチ・ドーピング啓発を含めた「スポーツインテグリティ講習会」を開催した。

11月26日(土)には、全日本相撲選手権大会に出場する選手を対象としたアンチ・ドーピング講習会を実施した。

その他啓発のために各団体に冊子などを配布した。

11. コンプライアンス・ガバナンスに関する事業

ガバナンスコードへの対応ため、「定款」、「役員候補者の推薦等に関する規程」、「倫理規程」、「競技者規程」および「危機管理規程」の改正を行った。

また、公益財団法人として、「法令・定款に則った財団運営」に常時配意し、公正な運営に努めた。

12. 役員の交替

変更なし。

以上

